

平成23年(2011年)8月1日(月曜日)



夕毛を持ち、大はしゃぎで川の中に入る石巻の子どもたち

三島市の源兵衛川

GW三島が被災児童・家族招待

三島市内を流れる源兵衛川に31日、東日本大震災で被災した宮城県石巻市の児童や親子連れ45人が川遊びに訪れた。子どもたちは「水が冷たい」「サワガニを見つけた」と大はしゃぎで、水生生物の観察や水遊びを楽しんだ。

NPO法人グラウンドワーク三島が被災児童・家族を無償で招待する「心を元気にするショーツアー」の第6弾。石巻市の開北フットボールクラブスポーツ少年団などの児童らが訪れた。地元の三島の「一番町子どもしゃぎり」の児童も参加し、約2時間、一緒に川遊びを楽しんだ。

別れ際に三島の児童が石巻の児童にボール約30個をプレゼントした。6月のホテルまつりで販売したラムネの収益金で購入したという。

同ツアーは被災地の避難所で募集を掛け、今回は修善寺方面に滞在する2泊3日の行程を組んだ。同少年団の小野寺千代寿団長(60)は「空気が

源兵衛川で川遊び 「サワガニ」に歓声

おいしく、大変良かった。親戚宅に身を寄せる子どもも多く、川遊びやプール、バーベキューなど貴重な機会をいただいた」と話した。